

平成20年度産業保健調査研究

**福井県内の小規模事業場における
リスクアセスメントの取組の調査研究**

研究員

- × 主任研究者 津田 直昭
（発 表 者）（福井産業保健推進センター相談員）
- × 共同研究者 田中 猛夫
（福井産業保健推進センター所 長）
- × 共同研究者 高島 伸明
（福井産業保健推進センター相談員）
- × 共同研究者 立神 幹二
（福井産業保健推進センター相談員）
- × 共同研究者 辻 浩義
（労働衛生コンサルタント
（株）土蔵労働コンサルタント事務所）

1.はじめに

- × リスクアセスメントは、安全衛生マネジメントシステムの中核である。
- × 中小企業事業場では導入上の問題がある。
- × アンケート及び現地調査による実態把握により普及活動に役立てたい。

2.背景と目的

- × リスクアセスメント（R A）は労災防止手段として有効。
- × 阻害要因の実態。
- × 中小企業事業場への普及促進の方法。

3.調査の方法

- × 対象

県内従業員30人以上100人未満、500社対象

- × アンケート及びヒアリング

- × 回答率 48.6%

- × 作業環境測定による実態把握 6社

4-1.調査結果①

表2

対象事業場労働者数	集計
1～29人	26
30～49人	100
50～99人	96
100人以上	21
総計	243

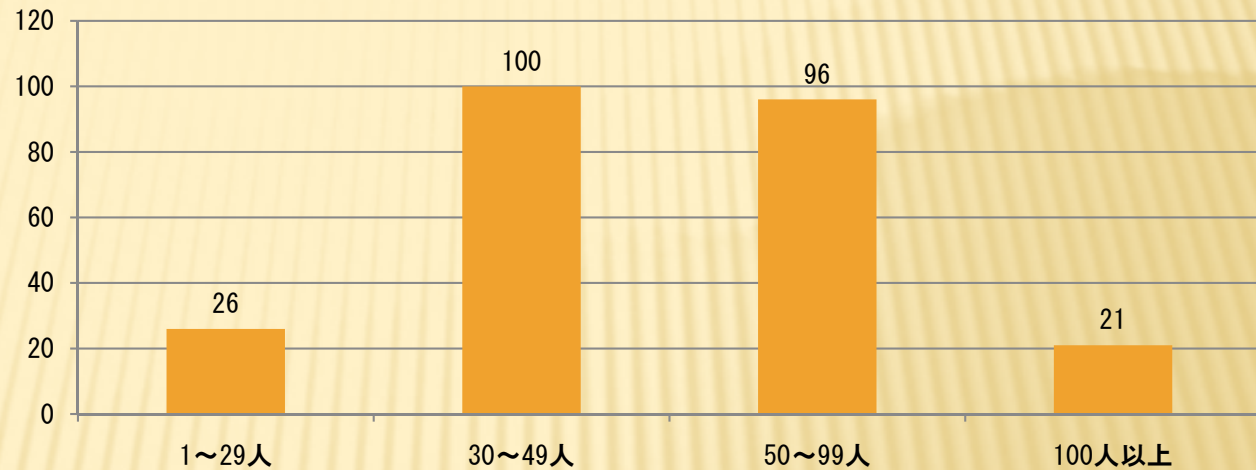
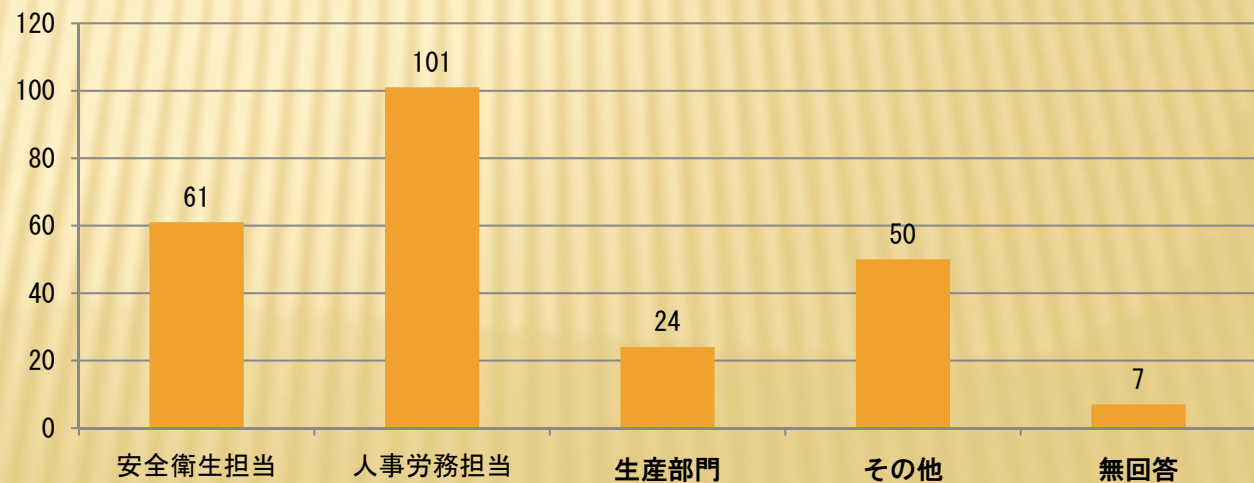
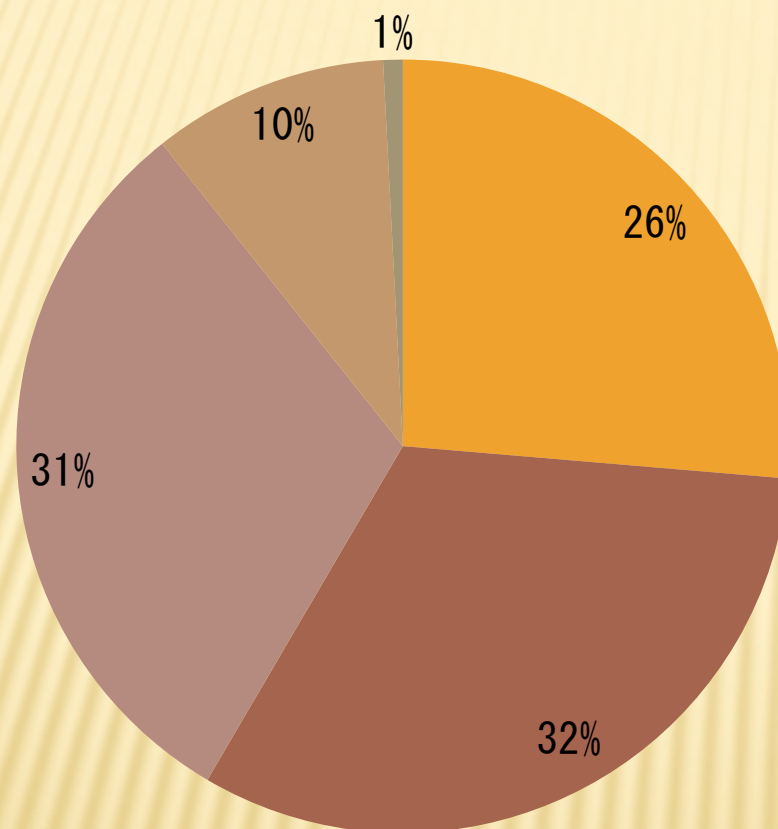


表3

回答者の担当部署	集計
安全衛生担当	61
人事労務担当	101
生産部門	24
その他	50
無回答	7
総計	243



4-1.調査結果②



■ RAについては、ほとんど知らない

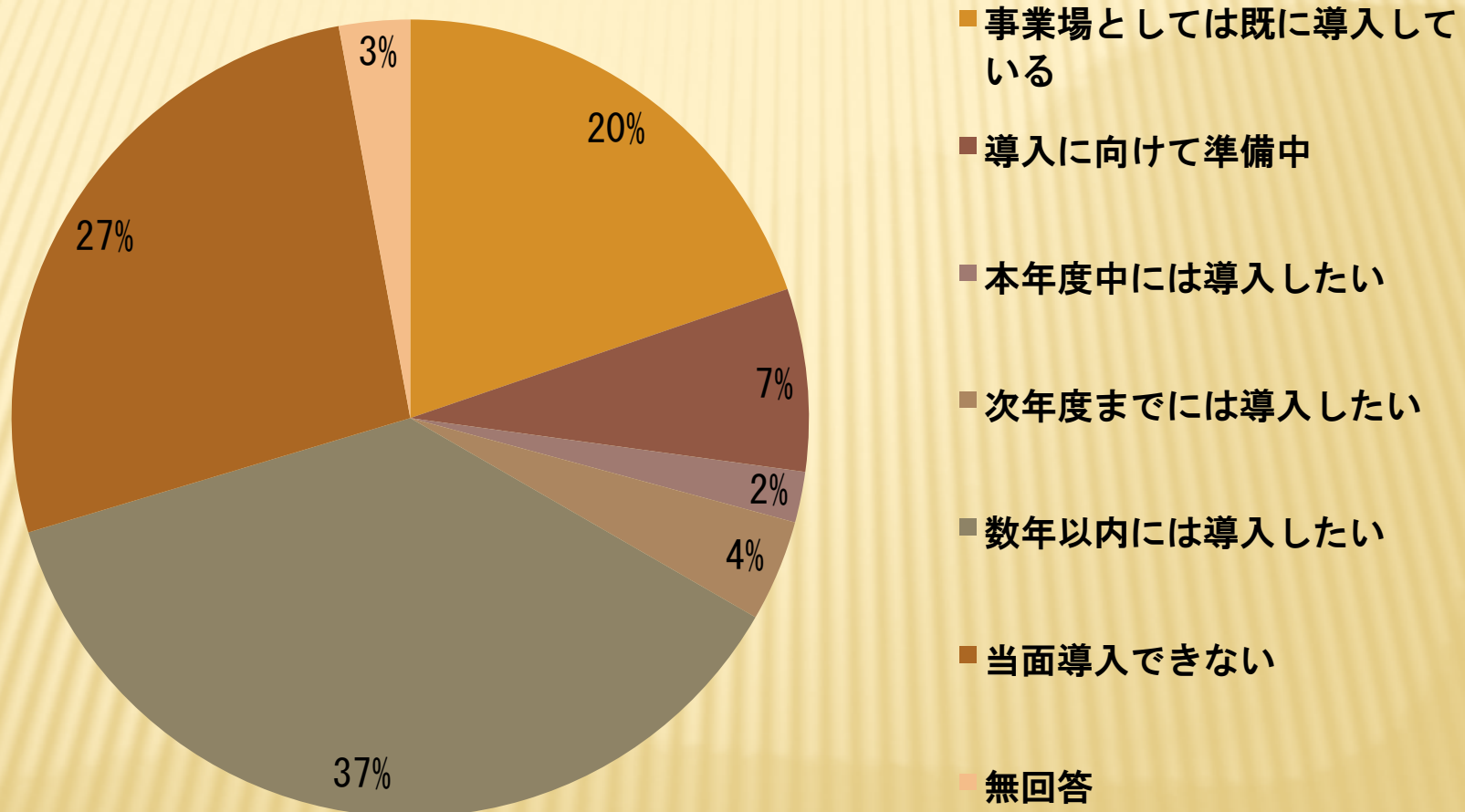
■ RAの指針があることは知っているが、その内容までは知らない

■ 説明会でRAの説明を受けたので、一般的な内容を含め知っている

■ RAの研修を受け、RAの導入方法を含めよく知っている

■ 無回答

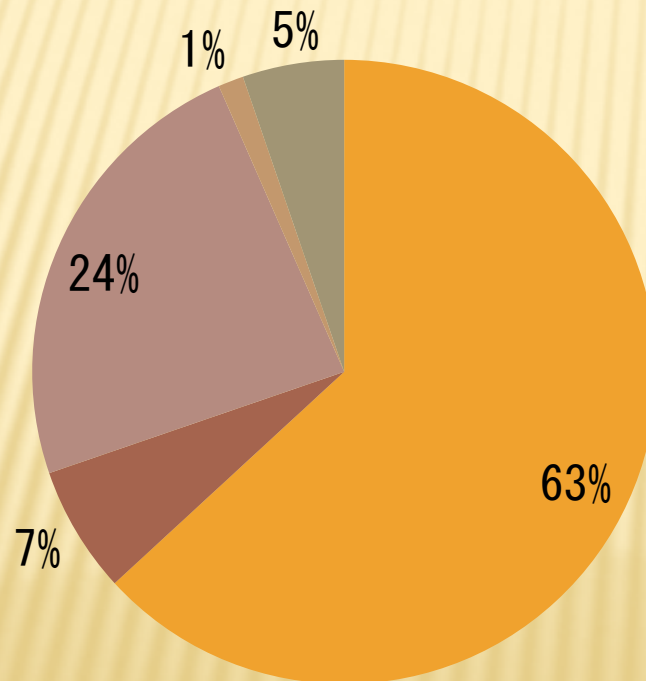
4-1.調査結果③



4-1.調査結果④

表 7

RAを導入できない理由について	集計	割合	複数選択	割合
実務担当者、推進組織等の人材不足	48	63%	50	60%
日程的に余裕がないため	5	7%	7	8%
近年災害の発生がないため、その必要を感じないため	18	24%	19	23%
近くの企業では導入していないから（横並び意識）	1	1%	3	4%
その他・無回答	4	5%	4	5%
総計	76	100%	83	100%



- 実務担当者、推進組織等の人材不足
- 日程的に余裕がないため
- 近年災害の発生がないため、その必要を感じないため
- 近くの企業では導入していないから（横並び意識）
- その他・無回答

4-1.調査結果⑤

表 8

RA導入研修への参加	集計	割合
参加したことはない	125	51%
参加している	75	31%
研修があれば参加したいと思っている	38	16%
無回答	5	2%
総計	243	100%

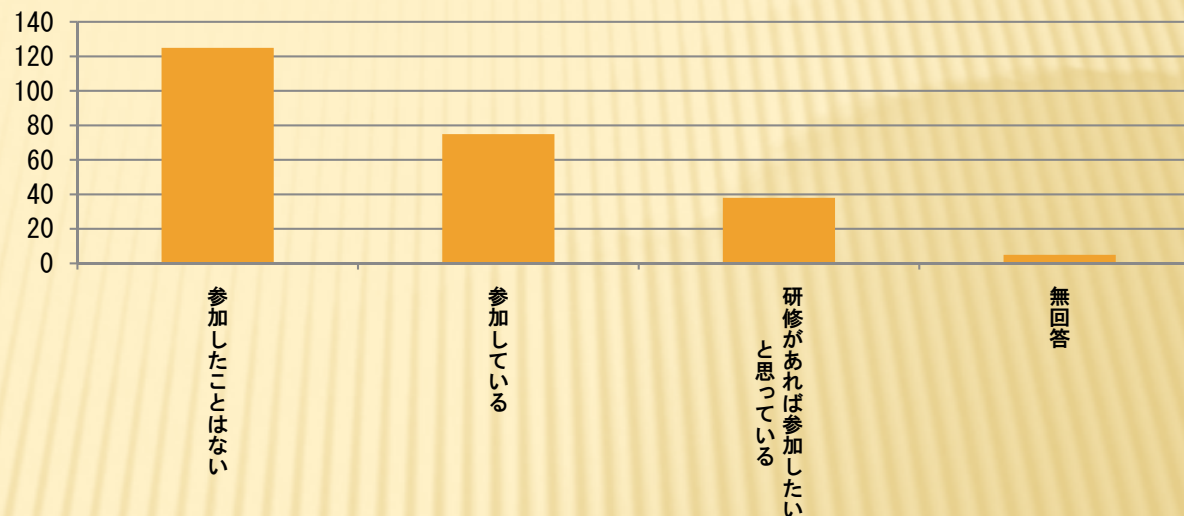
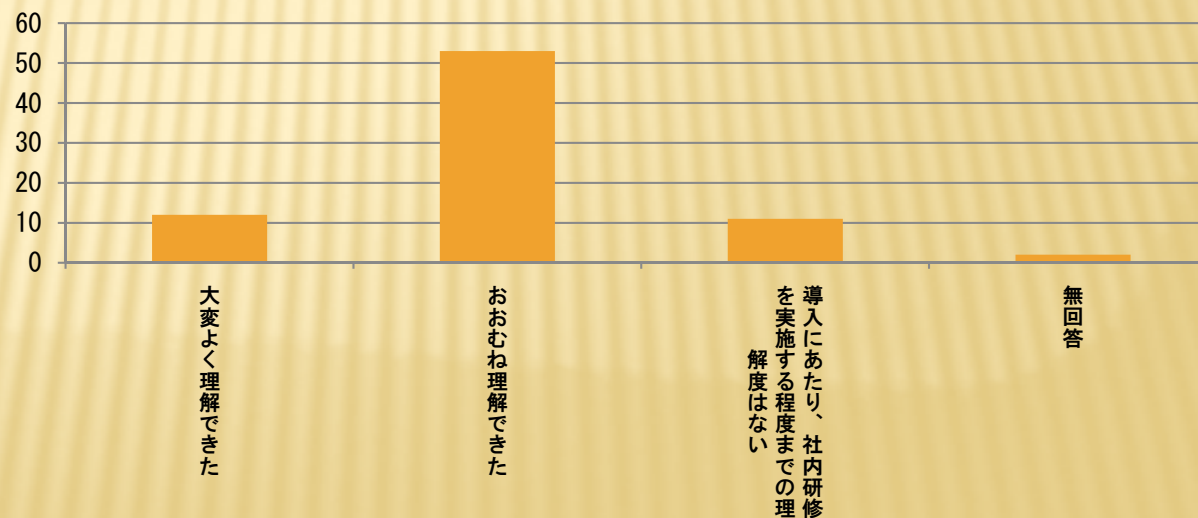
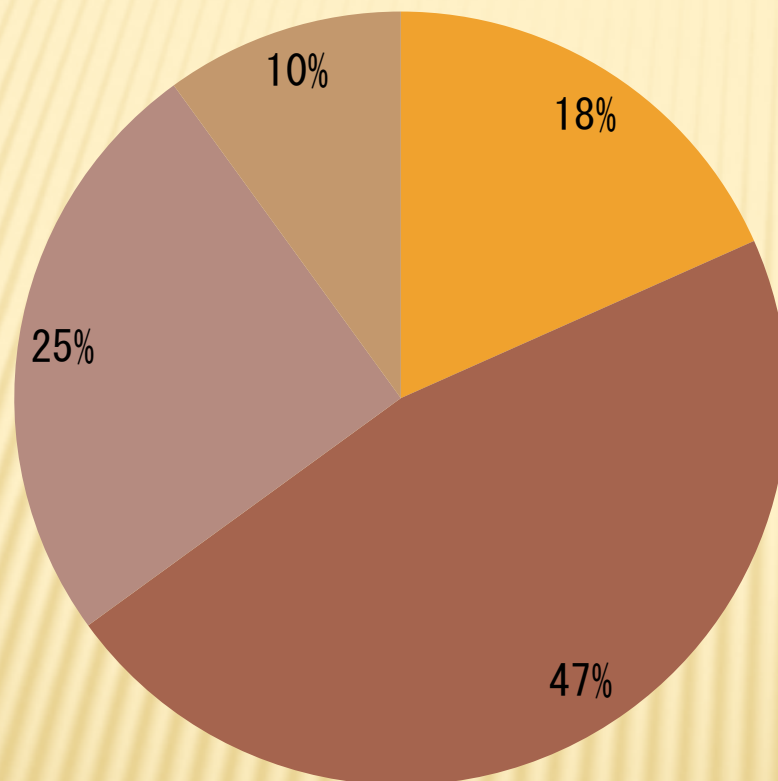


表 9

RA導入研修の理解度	集計	割合
大変よく理解できた	12	15%
おおむね理解できた	53	68%
導入にあたり、社内研修を実施する程度までの理解度はない	11	14%
無回答	2	3%
総計	78	100%



4-1.調査結果⑥



■ 適切な人材の不足

■ 業務多忙で時間的余裕がない

■ 内容の理解が十分でない

■ その他

4-2. 実地聞き取り調査及び作業環境測定

- × 環境測定
- × 有機溶剤業務
- × 粉じん業務
- × 暑熱・騒音・照度

5. 考察とまとめ

- × R Aについて知らない 5 8 %
- × 導入については前向き 7 0 %
- × 阻害要因
 - 実務担当者人材不足 7 0 %

【今後の取組み】

- 経営トップへの積極的な普及活動
- 実務者教育、有害物質・化学物質等への対応

終わり

ご静聴ありがとうございました。